



特別養護老人ホーム黒原荘

平成7年8月、時堂にて開所。スタッフ41名の体制で、入所者30名、ショートステイ6名、デイサービス30名を受け入れています。

No.23  
H21.7.31発行

議会だより



# あさぎり

**町民の声**  
中学校をよくしていく義務  
最近思う事  
14 P

**議会活動**  
町の新しい風  
常任委員会報告  
11 ~ 13 P

**一般質問**  
十一名が登壇  
6 ~ 11 P

**臨時議会**  
ふるさと雇用再生特別交付金事業  
緊急雇用創出事業  
経済危機対策臨時交付金  
4 ~ 5 P

**六月定例議会**  
条例改正・補正予算  
教育委員・固定資産評価  
審査委員の選任同意  
2 ~ 3 P

# 第二回あさぎり町議会(六月定例議会)

平成二十一年第二回定例会が六月十六日から十九日まで四日間の日程で開催されました。一般質問十一人が登壇し国民健康保険税条例の改正や一般会計補正予算ほか特別会計補正予算、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任等上程された議案はすべて原案どおり可決しました。

## 条例の制定

※あさぎり町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

○今後の医療給付状況を考慮して条例が改正されました。

改正前(平成20年度国民健康保険税率)

	所得割	均等割(1人当り)	平等割(世帯当り)
医療分	8.2%	24,000円	30,000円
※1 支援金分	2.7%	8,000円	8,000円
介護分 40歳～64歳	1.8%	8,400円	8,000円



改正後(平成21年度国民健康保険税率)

	所得割	均等割(1人当り)	平等割(世帯当り)
医療分	10.5%	24,000円	33,000円
※1 支援金分	3.5%	8,000円	8,000円
介護分 40歳～64歳	2.2%	8,000円	8,000円

また税制改正により、限度額が医療分は据え置き47万円、支援金分も据え置き12万円、介護分は9万円から10万円となりました。

※1支援分とは、後期高齢者に移られた方々の医療費の一部を支援するために平成20年度から設けられた保険税です。

○今回の税率改正による参考世帯の税額は下記のとおりとなります。

(参考世帯)

夫婦(35歳以下)子ども2人、所得200万円

20年度税率の税額

347,900円

⇒

21年度税率の税額

402,700円

増税額

54,800円



### 国保出産育児一時金改正条例の制定

○出産育児一時金が国の制度改正により三十五万円から三十九万円に改正されました。



○多い時には年間八五〇〇人の利用があった岡原地区の老人憩の家が、施設の老朽化と行革により廃止されることになりました。



閉館される岡原老人憩の家

### あさぎり町老人憩の家条例を廃止する条例の制定

# 主な補正内容

◇まちづくり交付金事業  
一千万円

免田駅周辺開発設計委託料。

◇公民分館等施設整備事業  
五十五万円

覚井、庄屋公民分館の水洗  
化工事等。



◇道路維持改良事業  
三百七十九万円

機械借上、工事請負、補償  
費等。



●教育委員会委員に

吉井潤一さん



あさぎり町岡原南  
四二八番地三  
昭和16年1月5日生

●固定資産評価審査委員会委員に

齋藤幸寛さん



あさぎり町上北  
四七二番地二  
昭和23年3月24日生

●固定資産評価審査委員会委員に

愛甲 恵さん



あさぎり町須恵  
二二三三番地一  
昭和26年5月23日生

●固定資産評価審査委員会委員に

尾鷹正嗣さん



あさぎり町免田東  
一八四〇番地一〇  
昭和16年1月4日生

●固定資産評価審査委員会委員に

畑崎逸雄さん



あさぎり町岡原南  
一八二八番地一  
昭和9年8月20日生

●固定資産評価審査委員会委員に

荒川卓之さん



あさぎり町深田東  
一八七五番地一  
昭和10年9月11日生

※訂正とお詫び…議会だより22号の中で、3Pのグリーンツーリズム推進事業を284万円に訂正し、お詫び申し上げます。

## 臨時議会 (第2回) 5月25日開会

あさぎり町臨時議会が、5月25日に会期1日で開かれました。

- ◎法律の改正に伴い、あさぎり町職員の勤務時間が週40時間が38時間45分になりました。今までの勤務時間中8時30分から12時15分までが12時までとなり12時から1時までが休憩時間となりました。
- ◎人事院勧告に伴い、議員及び町長、副町長、教育長への6月支給期末手当を暫定的に報酬月額額の100分の140が支給されていたのが100分の125となりました。また、一般職員についても同様に改正されました。

### 一般会計 (補正予算第8号)

基金として5千422万円が積み立てられました。又精算による減額等で補正額1千44万円が増額され、20年度最終予算額は111億2千685万4千円となりました。

### 特別会計

国保会計、補正額888万8千円、総額23億1千76万9千円。

老保会計、補正額1千27万8千円、総額2億2千580万9千円。

簡易水道会計、補正額477万円、総額6億6千475万9千円、等が承認されました。

## 臨時議会 (第3回) 7月13日開会

あさぎり町臨時議会が、7月13日に会期1日で開かれました。

国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(45事業)事業費7億5千923万1千円、県のふるさと雇用再生特別交付金事業(雇用者数15名)、緊急雇用創出事業(雇用者数54名)自主財源併せて、8億3千962万5千円を追加した、一般会計補正予算(第2号)を可決しました。

### 平成21年度ふるさと雇用再生特別交付金事業

番号	事業名	事業内容	雇用人数(人)
1	あさぎり町農業再生チャレンジ事業	製薬会社からの需要が高い薬草「三島紫胡(みしまさいこ)」を活用した畑地帯の生薬栽培事業を行うとともに、栽培マニュアルを作成し、ミシマサイコの普及を図る。	5
2	グリーン・ツーリズム商品開発等事業	グリーン・ツーリズムの新たな旅行商品の開発、販売促進等	1
3	地域ブランド商品開発等事業	大学・高校等との産学連携による商品開発、販路開拓、ネット販売等	1
4	あさぎり町山の幸開発事業	しいたけの栽培及び販売、山菜等の収集及び販売等	6
5	体験食坊「あさぎり」事業	地産地消を推進する料理体験教室の運営等	2
合 計			15

平成21年度緊急雇用創出事業

番号	事業名	事業内容	雇用人数(人)
1	教員補助員設置事業	特別支援学級への教員補助員の設置	2
2	緊急雇用相談窓口等設置事業	グリーン・ツーリズムの新たな旅行商品の開発、販売促進等	2
3	河川農業水路等管理作業緊急雇用創出事業	中小河川敷、耕作放棄地、水路畔の除草、伐採等	10
4	独居及び特定高齢者訪問事業	高齢者独居世帯等の訪問による現況把握及びデータの整備を行う事業	2
5	地域バイオマス利活用研究事業	木材工場から搬出される木灰のペレット化の研究、製造、販売促進を行う事業	6
6	鳥獣害対策作業緊急雇用創出事業	有害鳥獣の生息状況実態調査及び巡回パトロールを行う事業	14
7	町道等環境美化事業	町道等の清掃、側溝清掃・土砂除去等を行う事業	10
8	交通防犯防災施設点検調査事業	カーブミラーや街頭などの交通防犯施設、及び消防水利等の防災施設の点検、調査を行う事業	8
合 計			54

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業（主なもの）

番号	事業名	事業内容
1	本庁舎南側駐車場舗装工事	砂利敷きとなっている南側駐車場は、凹凸が多く雨天時に水たまりができ歩行にも不便を期しているため、舗装することで利便性の向上を図る。
2	ポップ館改修事業	音響・照明設備・内装の改修や椅子等の入れ替えを行う。
3	廃食油を利用したバイオディーゼル燃料（BDF）化事業	モデル的に町内の公的機関（給食センター・保育所等）から出る廃食油をバイオディーゼル燃料として軽油化し、給食配達車等へ再利用する。
4	低公害車導入事業	公用車の計画更新の一環として、軽ワゴン車2台、クリーンディーゼル車1台を購入する。（前倒し事業）
5	高山運動公園屋外トイレ改修工事①	シャワー棟裏のトイレを水洗トイレに改修する。
6	高山運動公園屋外トイレ改修工事②	運動公園北側の屋外トイレを水洗トイレに改修する。
7	下水道舗装本復旧工事	汚水管渠築造工事を行った路線の舗装の本復旧工事を行う。（部分前倒し事業）
8	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザ対策のために、マスクや消毒剤・防護具等を購入し保管しておく。
9	高山運動公園駐車場整備工事	高山体育館での競技大会時に路上駐車が多く、車両通行上も非常に危険な状況にあるため、隣接するゲートボール場を駐車場に改修し安全性を確保する。
10	体育施設用AED購入	高山運動公園、上総合体育館、B&G海洋センター等へAEDを設置する。
11	消防積載車更新	1年おきに防火水槽と交互に整備しているが、積載車3台を更新する。（前倒し事業）
12	消防小型動力ポンプ更新	1年おきに防火水槽と交互に整備しているが、小型動力ポンプ3台を更新する。（前倒し事業）
13	救助工作車更新事業	平成25年度に計画していた、上球磨消防署の救助工作車の更新に係るあさぎり町の負担金。（前倒し事業）
14	住宅用火災警報器設置補助	設置を義務づけられた火災警報器の普及促進のため、公営住宅を除く町内全世帯へ火災警報器を現物支給する。
15	辰堀川改修工事	県道錦湯前線（上・岡原地区の境界）の下流域が河川の線形上、断面不足を生じ大雨時に水田に越流する箇所があるため改修を行う。
16	水道遠隔監視システム工事	上・免田・須恵地区内の水道遠隔監視システムを導入する。（前倒し事業）
17	上小学校転落防止手摺設置工事	上小学校校舎に転落防止の手すりを設置する。
18	上総合体育館耐震診断業務委託	本施設は広域避難場所でもあり、耐震診断の必要性がある公共施設として診断業務を行う。
19	須恵文化ホール舞台吊物交換	吊物の交換や昇降用リフトの設置により、出演者や観客の安全性を確保する。（前倒し事業）
20	須恵小学校線法面崩壊対策工事	法面ブロックがせり出し通学に危険性があるため、ブロックの崩壊防止工事を行う。
21	町道舗装打換工事	町内幹線道路のうち、通学に使用する道路の痛んだ舗装路面を修復する。
22	準用河川等土砂浚渫業務	町内の準用河川には、大量の土砂が堆積して葦カヤ等が繁茂しているため、これを除去して河川の氾濫や護岸決壊を防止する。
23	おかどめ幸福駅売店店舗改装事業	既設の陳列棚等が古くなってきているため、更新し売店の魅力を引き上げる。
24	ビハ公園施設内改修工事	公園内に外灯や水車、ポンプ等を設置して、公園の利用者の拡大を図る。
25	ビハ公園トレーラーハウス屋根修繕事業	宿泊施設であるトレーラーハウスの雨漏りを修繕する。
26	あさぎり町元気支援農業振興補助事業	農業機械や施設の導入に要する農家の経費負担の一部助成を行う。
27	あさぎり町元気支援畜産振興補助事業	優良家畜導入や畜産用農機具の導入に要する農家の経費負担の一部助成を行う。
28	水田農業環境整備事業	地域から要望があった箇所を中心に、農業用水路・排水路・農道等の整備を行う。
29	おまけ付き商品券発行補助事業	冬の歳末商戦に向けた、ありがたい商品券事業

消防署西分署設置の考えは

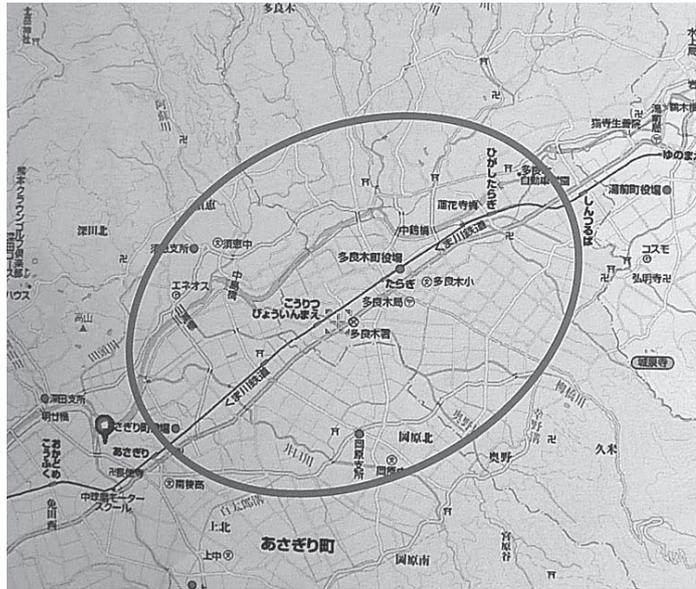
必要と思うが費用がかかる



湊田勇一議員

湊田 人命救助に対応する場合心拍停止に陥った時再生できる目安時間は五分と聞いた。上球磨消防から五分間で到達する区域は概ね地図の通りである。この範囲外の町民に対しても、西分署設置の考えはないか。

町長 緊急時を考えると必要と思うが、現実的には費用がかかるため検討できていない。  
湊田 今の答弁は人命よりも費用の方が優先されている。では、遠隔地の人達へ



出動指令後、現場到着5分以内の範囲

『その他の質問』  
※熊本県城南地区四消防本部ブロック消防広域化について。

町長 どう対応しようと思いか。  
町長 五分間圏域外への対応は下球磨消防署錦分署の機動力対応を考えている。又、上球磨消防組合の構成町村の連携が必要となる。

一般質問をどう対応していくか

真剣に受けとめていくべきものである



山口和幸議員

山口 各議員は地域と行政のパイプ役として、政策提案等を一般質問するが、どのように受けとめ、町づくり・地域づくりに活かしていくのか。

町長 常に真剣に受け止めていくべき内容だ

山口 町民の方々の健康づくり、地域づくりに重要な役割を果たす体育指導員を減員したことにより、荷重になって、本来の指導員の仕事に影響はないのか。  
教育長 少ない手当中、ボランティア精神で、健康づくり・体力づくり、スポーツを通じての地域づくりに大きな影響を与えていただいております、今後とも連携・協力しながら、体育指導員の活動を支援・援助していきたいと思っております。

体育指導員の減少は、健康づくりに影響はないのか

体育指導員の活動を支援・援助する



活動する体育指導員

質問が登壇

◎農業振興の具体策は

集落営農組合の法人化も支援



愛甲利孝議員

「SL人吉」をくまがわ  
鉄道に

**愛甲** 本町の基幹産業である農業をいかに振興していくかは、これから最も重要な課題だ。

町長は具体的な対策をどう講じていく考えか。

**町長** 農業施設整備に伴う農家負担軽減策を引き続きやっていく。また、都市と農村の交流にも取り組んでいく。  
さらに、農業者の高齢化の現状をふまえ、農業経営基盤の強化、集落営農生産組合の法人化も支援していく。

**愛甲** 「SL人吉」が熊本・人吉間で運行されている。これを、あさぎり町の活性化にどう活かしていくか。さらに、これをくまがわ鉄道まで誘致できないか。

**町長** 人吉まで来たお客を、あさぎり町まで来ていただくよう取り組んでいく。

おかげで、幸福駅周辺、あさぎり駅前周辺を活性化するという工夫した。SLを湯

い。SLを湯



免田川鉄橋を渡るSL(昭和47年頃) 蓑田富七氏提供

前まで走らせるのは大賛成。みなさんと一緒に、活動していきたい。  
『その他の質問』  
※マツクイムシの防除対策について

一般  
11名

◎老朽化した用水堰対策を



岩水国昭議員

長期寿命化診断をしたい

**岩水** 堰の老朽化が進み、漏水が激しく受益者は、水の確保に苦労され心配されている。

町内の自動転倒堰は（土地改良区を除く）いくらかあるか。

**産業振興課長** 須恵地区に瀬ノ上堰、上阿蘇堰、深田地区に赤岩堰、枕木の四ヶ所です。

**岩水** 球磨川石坂堰の改修総事業費は。

**町長** 改修は平成十八年度から二十一年度にかけての工事。

**産業振興課長** 総事業費は約四億六千六百万円、町の負担金約一億

五百万円、受益者負担十

アル当たり、

五千五百から

五千七百円の

見込み。

**岩水** 赤岩堰の要望書調査結果は。

**産業振興課長** 昭和四十六年に築造されている。老朽化が激しく、鉄板の腐食による漏水がある。その一キロ上流にある、枕木堰も同じ状況である。今、熊本の土地改良連合会に堰の長寿命化診断をお願いしている。



老朽化した樅木堰

◎ 中長期の財政の公表を

Ⅲ 広報紙で説明していく Ⅲ



宮原盛幸議員

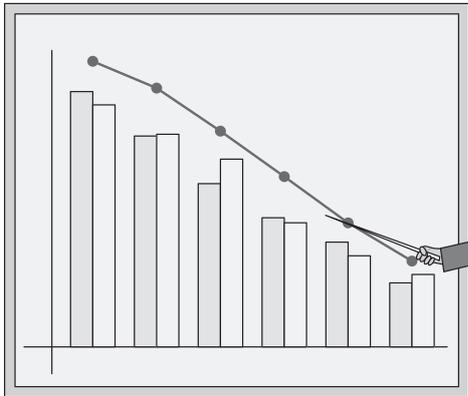
るし、又財政転換が必要となる。町長はどうか考えておられるのか。

**町長** 町の財政を健全に維持して自主自立の運営をしていくことが大きな課題だと認識している。

**宮原** 町の中長期の財政見通しの中で、単年度収支は平成二十六年、度迄は黒字が続くが平成二十七年、度から完全な赤字になる。そして平成三十一年度には十二億五千九百九十九万円の歳入不足が生じる。これは合併特例債を活用、町づくり基金を積み、たて、それを利用して、である。今回の国保税のように町民の皆様、に多大な負担を求める可能性がある。町民の皆様に公表する必要がある。

しかし一方で町民の皆様、不安と先行きに暗い思いをもっている。ただ、活力は逆、に、さげ、な、ら、ない。町民の皆様に

は充分注意しながら理解を求める必要がある。広報紙で国保ととも説明していく。



◎ 農業センターの早期設置を

Ⅲ 人材育成を中心に進めたい Ⅲ



小見田和行議員

の雇用の場を創り、地域農業の支援を果たす事が期待できる。それらを担うリーダー養成は行政の責務と考えるが、お考えは。

**町長** 組織化にあたって、リーダーの研修の場の必要性を感じている。

**小見田** 農業所得も減少し続けるなか、あざざり町の耕作放棄地も、昨年の調べで一五〇ヘクタールとなっている。集落営農組織も町内に二十八組織立ち上がり、大型農業機械の導入も始まった。

しかし、現場の高齢化、担い手不足は、近い将来、深刻なものになると心配される。農業センター構想、すなわち人材派遣、作業の受託、農業機械のリースを行い、法人化し若者

**副町長** 臨時交付金事業の中から研修、資格取得とかの補助制度をつくり、利用も増えている。これらを使い人材育成に努めたい。  
**小見田** 十年後には

六十五歳以上の農業従事者が八割を超えようという状況のなか、将来のビジョンを伺いたい。  
**町長** 第三セクターの農業センターは難しいが人材育成を中心に進めたい。高齢者に生きがい、女性は明るく働ける農業づくりを目指したい。



導入が進む大型機械



◎水害や、土砂災害への防災対策は？

各戸へ防災マップを配布。  
各消防団でも対応している。



永井英治議員

班一名が、役場に登庁し、情報収集や各関係機関との連絡調整に当たり、消防団幹部へも携帯電話のメールで、災害への警戒に努めている。

る。また、行政、南稜高校、振興社と今後の取り組みについて協議をしている。その中で、味噌などの発酵技術、牛、豚、イノシシ、シカ、鮎など、地元で取れる物と組み合わせられた新商品開発に取り組む協議がなされている。

◎地域ブランド商品開発の進捗状況は？

関係機関と協議をし、取り組んでいる。

永井 町農林商工連携協議会が発足しているが、その中での商品開発の進捗状況は？

産業振興課長 国の経済対策でふるさと振興社に、新商品開発のために新たに一名増員して

永井 今年の梅雨は、少雨傾向であるが、ここ数年の降雨の特徴として、一時間に五十mmを越す「短時間局地的大雨」の回数が大幅に増加している。その防災対策はどうなっているのか。  
町長 いつでも災害に對しての備えが重要だと考えている。  
総務課長 平成十六年に防災マップを作成し、各戸に配布している。また、消防団で、土嚢を作つて、災害に備えている。大雨洪水警報が発表された場合、総務課二名、環境整備課建設



H20年6月、大雨で増水する球磨川

◎農業の活性化を

法人化は今後の大きな推進テーマ



久保田久男議員

久保田 町の活性化は、農業の活性化なくして考えられない。二十八の集落営農生産組合は、地域の活性化の「カギ」を握っているのではな

いか。町はこの組合に對して、どのようにとらえているか。  
町長 集落組合を組織しても目指す方向ができていない状況で、もう時間がないのではと強い危機感をもっている。

産振課長 県の協議会会長の談話として「三

強化をしていく必要があると思つている。

産振課長 国として二

段階の支援事業があり、まずは「担い手アクションサポート事業」を利用して研修会、先進地視察等を実施していきたい。

『その他の質問』

1. 集落組合のグリーンツーリズムへの取り組みについて。
2. 組合の遊休施設の活用について。



須恵地区集落営農組合の拠点

◎15分構想の整備状況は

通学路を中心に力を傾注したい



奥田 公人 議員

**環境整備課長** 町内十五分構想については事業量ベースで、現在三〇%から三五%ぐらいの進捗状況である。

**奥田** 「あさぎり町内どこに行くにも十五分構想」は犬童町政のときに計画された構想であった。当然、継続的に取り組まれているとは思いますが、計画に対する進捗状況はどうなっているのか。

**町長** 十五分構想は、犬童前町長のほうから業務引き継ぎの一つとして受け止めていて、基本の取り組みの姿勢は変わっていない。ただ中学校の統合までは通学路を中心に力を傾注していきたい。

**環境整備課長** 町内十五分構想については事業量ベースで、現在三〇%から三五%ぐらいの進捗状況である。

**奥田** 十五分構想は行財政改革の取り組みと同時に、大幅に見直されたのではないかと思う。十五分構想に外れている町内主要道路等の今後の取り扱いについて尋ねる。

ならない事情、各地区要望などを総合的に判断して、内部協議を行いながら整備を進めていきたい。



改良要望箇所

町の新しい風  
ふるさと振興社



新商品開発中

新商品開発においても、栄養バランス(Fe・Ca)の良い豆乳ブレンドヨーグルトを開発され県内の学校給食用に配送販売されています。その他、廃棄物となっていたオカラからオカラクッキー、豆乳期限切から豆乳石ケン、豆乳マヨネーズ等が次々と誕生しています。体験食房あさぎりの実施など職員一丸となって頑張っております。

ふるさと振興社は、物産館(売店・加工所)・有機センター・ビハ公園を指定管理者として運営されています。

民間出身の白柿洋征新社長(20年4月1日就任)の元、民間の会社であれば当然の損益分岐点の考え方、四半期毎の決算報告を実施して、一般企業会計にて経営強化を図っております。

また、中心地から離れている土地条件を逆手にとり、物産館周辺を含めて憩い、やすらぎの場所として、健康やすらぎゾーンにすべく行動中です。新しい風の息吹を感じた次第でした。町民皆様方のご協力をお願い致します。

# 議会活動

## 常任委員会報告

### ●総務・文教常任委員会

日時 平成二十一年五月十三日

①町の中期・長期的な財政見通しの調査をした。

平成二十一年度から二十五年度の五ヶ年間の収支見通しは四千万から二億円の黒字決算との試算報告を受けた。

しかし、歳入の五十%を占める地方交付税の動向次第では厳しい運営を強いられることも十分予想される。

②須恵文化ホールの屋根改修調査は職員から説明を受けた後、現場を直接見たほうがよく理解できるだろうとホールの屋根に上ったが、鳥害の痕跡が多く確認できた。



須恵文化ホール

### ●厚生常任委員会

日時 平成二十一年五月二十二日

五月二十二日（金）、前回に続き町内福祉施設の現況把握のため、①認知症対応型共同生活介護グループホームえがお②養護老人ホーム、特別養護老人ホーム翠光園③JAくま福祉の里・木綿葉④特別養護老人ホーム黒原荘、又会期中には知的障がい更生施設つづじヶ丘学園を訪問し、施設側から施設の概要について説明を受けたのち、質疑を行いました。



つづじヶ丘入所者の作業風景

### ●建設・経済常任委員会

平成二十一年五月十一日

町内建設建築業者育成に関する請願書について、請願者から請願の趣旨三項目について詳細説明を受け、担当課の取り扱い状況を調査した結果、趣旨（1）については採択とし、趣旨（2）、趣旨（3）については不採択とした。

平成二十一年六月十八日

畑地帯遊休農地の解消（薬草ミシマサイコ試験栽培地）、田頭川（赤岩堰、椀木堰）の現地調査



建設・経済常任委員会現地視察

## あさぎり中学校開校準備調査 特別委員会設置

委員長 宮原 盛幸

あさぎり中学校が二十四年四月に開校されることに伴い、議会としても開校までの諸準備作業を検討調査するため特別委員会を議長を除く全議員で構成設置することになりました。

宮原盛幸委員長、桑原武夫副委員長が選出されました。

## あさぎり町議会改革調査 特別委員会報告

委員長 榎山 保

三月十三日に「あさぎり町議会改革調査特別委員会」を発足し五月二十五日に第二回の委員会を開催した。

事務局より議会改革の背景と本議会に於ける経緯についての説明、協議として、(1)検討項目の設定、(2)今後の進め方について意見を伺う。

六月十一日、第三回「特別委員会」を開催する。

事件として執行部への議会提案について、国の二十一年度補正予算による「地域活性化、経済危機対策臨時交付金」(七億九百万円)を活用した町の取り組みについて議会提案を検討してもらった。

議会から事業提案五十五、執行部提案百三十九と聞いている。



安全・安心・  
栄養豊かな  
学校給食の試食  
給食センター  
(平成21年6月18日)

### 議会ひとくちメモ(4)

(町議会のことをお知らせするコーナー)

**問** 議会用語がむずかしい？

**答**

(一般質問)町政に関する事柄を町長等に質問すること。

(案件)議案、請願、意見書など。

(上程)会議に議題としてのせること。

(質疑)議案などの内容について疑問

点などをたずねること。

(付託)議長が議案などを所管する委員

員会に送ること。

(延会)予定案件を終了しないでその

日の会議を終えること。

(討論)案件について賛成、反対を表

明すること。

(表決)議員が賛成、反対を表明する

こと。

町

民

の

声



# 中学校を良くしていく義務

深田 北崎 一英

十二月の議会において「あさざり町の中学校をひとつにして、場所を現上中学校にする」と決定し、今後は環境整備といった工程へのシフトです。

実際、小中学校の子供をもつ保護者としてみれば平成二十四年四月開校と間近に迫った中学校統合について不安があります。

その不安を取り除きスムーズに開校できるよう設置された準備委員会のなかのひとつに通学予定道路の危険箇所点検調査がありました。

今回の調査では新中学校だけでなく、既存の小中学校の通学路について再考できるいい機会となりました。

この小さい深田校区でさえ、いまだに多くの歩道や街灯の未整備箇所がありました。これらは他の校区においても同様ではないかと思われま

す。「実際開校したけれど危険箇所がいっぱい。県道だから時間や予算がないからしょうがない」となることが一番の不安です。

あさざり中学校を良くしていく義務が現議会、現役場、そして私たち町民にあります。議員や役場を辞めたから、子供が卒業したからといって責任放棄してはいけないと思います。

二十四年四月以降、あさざり町すべて子供達が安全、安心に健やかに学校生活を送れることを願います。

## 最近思う事



私毎回「議会だより」を読ませて頂いております。

我が家は、お茶を中心とした農業を営んでおり、仕事の傍ら、八十八才の義母の介護を始めて約四年。町内の施設のデイサービスや忙しい時等のショートステイを利用して頂いております。義父の時から今まで皆さんに良くして頂き、こうい

## 上 小出 由美

う制度があるからこそ出来る在宅介護だと感じております。主人や義姉、親せきのおばさんや友人、色んな人達にも支えになってもらっています。そんな中でも、榎田地区の婦人会にも参加しておりますが、活動の中で先輩方との話の中心を話したり、アドバイスをもらったり、廃油石けん作りや小旅行など、楽しく参加しております。感謝の気持ちの大切さも学びました。

今、婦人会が失くなってしまった地区もあると聞きます。

青年団もそうですが、やはり地域になくはならない活動だと思えます。皆さんとの関わりを通じて自分自身の向上と、地域の活性化が、いずれは町の発展にも繋がって行くのではないかと思います。若者が安心して働ける町、皆が笑顔で過ごせる町になってほしいです。

最後に我が家の三人の子ども達も長女は地元で働いており、長男と、今春高校を卒業した次女も、いずれは帰ってくる予定です。その日を楽しみに待ちながら、仕事に介護に頑張っていると思います。

## 編集後記

あじさいの花は、シトシト静かに降る雨に打たれて咲いている時のほうが美しい。また、今年もその花を見る事ができて、嬉しく、幸せを感じます。しかしながら、空梅雨の為、田植えが心配です。適度な慈雨が待たれます。

「議会だより」が届く頃には、青々と広がる「田んぼ」を願っております。これからも厳しい日差しが続きます。夏ばてしないよう毎日の生活に気を配りましょう。私たちも町民の皆様方のご健康・ご多幸をお祈りしております。

広報委員会では、町民皆様方に親しまれ、読みやすい冊子にと心がけております。今後共、宜しくご愛読下さい。内容に対するご意見、ご要望をお待ちしております。(緒方)

編集・発行責任者

議長 橋爪 和彦

広報調査特別委員会

委員長 淵田 勇一

副委員長 愛甲 利孝

委員 皆越てる子

委員 山口 和幸

委員 緒方 勇二

委員 永井 英治

委員 永井 英治